

原子力規制委員会

交流採用（民間企業→国）

① 交流採用したいと考えているクラス（年齢）、人数等

課長補佐級（30～40歳程度）1名（令和5年8月以降採用予定）

② 交流採用が考えられる職務

原子力規制部審査グループ地震・津波審査部門に配属し、原子力施設に対する新規制基準への適合性審査として、事業者の設定した地震動の妥当性に関する審査業務へ従事いただくことを考えています。また、敷地ないし敷地周辺の地質・地質構造等の審査業務へも従事いただきたいと思います。

③ 上記職務に就かせる場合の交流採用者に求める条件（業種名、専門性等）

企業等において、地震の発生から伝播に関わる地震動評価、地下構造探査（屈折法及び反射法地震探査、微動探査及び検層等）、強震動評価の業務に従事した経験を有する方を条件とします。

④ 府省のPR及び人事担当者からの一言

原子力規制委員会は、2011年3月に発生した東京電力福島第一原子力発電所事故の教訓に学び、二度とこのような事故を起こさないために、そして、我が国の原子力規制組織に対する国内外の信頼の回復を図り、国民の安全を最優先に、原子力の安全管理を立て直し、真の安全文化を確立するために設置されました。

原子力規制委員会においては、東京電力福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえて策定された新規制基準適合性に係る審査のうち、原子力施設の地震に対する審査体制を強化し、原子力規制行政の充実・強化を図るため、その一翼を担う担当者として、企業等における豊富な業務経験等をお持ちの方を交流採用したいと考えています。

〔担当者〕

氏名：世良田 鎮

所属：原子力規制委員会原子力規制庁原子力規制部地震・津波審査部門、
管理官補佐(総括担当)

連絡先：03-5114-2119（直通）

原子力規制委員会

交流採用（民間企業→国）

① 府省・業務内容のPR

原子力規制委員会は、2011年3月11日に発生した東京電力福島原子力発電所事故の教訓に学び、二度とこのような事故を起こさないために、そして、我が国の原子力規制組織に対する国内外の信頼の回復を図り、国民の安全を最優先に、原子力の安全管理を立て直し、真の安全文化を確立するために設置されました。当委員会が2016年1月に受け入れを行ったIAEAの総合的規制評価サービス（IRRS）において、放射線防護に関する取組を更に強化すべき旨明らかとなったことを踏まえ、業務を遂行していく上において、民間企業の放射線防護に関する専門知識等が必要と考えていますので、民間企業における豊富な業務経験をお持ちの方を交流採用したいと考えています。

② 交流採用を行いたい役職段階、経験年数、採用予定時期

係長級（20歳代後半～30歳代）1名（令和6年4月以降採用予定）

③ 交流採用を行いたいポジション及び職務内容

原子力規制庁長官官房放射線防護グループ放射線規制部門に配属し、部門の所掌に関する放射線防護に係る調査研究の推進、新知見の取り入れに関する企画立案業務等の職務に就いていただくことを考えています。

④ 今回募集するポストに必要な能力・経験等

放射線に関する専門的な知識を持ち、放射線防護関連業務に一定程度（3年以上）の経験があり、国内外の放射線に関する動向等について専門的な知見を有している方を採用したいと考えています。

〔担当者〕

氏名：谷川 泰淳

所属：原子力規制庁長官官房放射線防護グループ放射線規制部門管理官補佐（総括担当）

連絡先：03-5114-2155